

24. 皮膚腫瘍

○

○: 専門とするがん ×: 診療を実施していないがん
 ※別紙5に入力した内容が反映されています。
 ※診療を実施していないがんについて、表の記載は不要

集学的治療・標準的治療の提供体制
 ○: あり ×: なし

○

当該疾患の診療を担当している 診療科名と医師数	治療の実施状況 (○: 実施可 / ×: 実施不可) / 昨年の実績 (あり/なし) ※平成25年1月1日～12月31日								各診療科における当該疾患の治療の特色・患者さんへのメッセージなど	当該疾患の治療に関する内容が掲載されているページ			
	主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を 専門として いる医師数	手術	化学療法	インターフェロン 療法	放射線療法 体外照射	凍結 療法		ページの見出しとアドレス ※トップページ以外を2つまで記載してください ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください	掲載されている内容		
			状況							治療内容	治療実績	医師の 専門 分野	
1	形成外科	2	2	状況 ○	○	×	×	×	形成外科専門医による治療を行っています。皮膚がんは早期切除が一番です。できものやほくろが急に大きくなったり、出血したり、気になれば早期に形成外科を受診ください。	ア http://www.tachibana-med.or.jp/other/ganshinryou/index.html	掲載あり	掲載あり	掲載なし
				実績 あり	なし	なし	なし	なし		イ http://www.tachibana-med.or.jp/medical/medicine/keisei.html	掲載あり	掲載あり	掲載あり
2				状況						ア http://			
				実績						イ http://			
3				状況						ア http://			
				実績						イ http://			
4				状況						ア http://			
				実績						イ http://			
5				状況						ア http://			
				実績						イ http://			

昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成25年1月1日～12月31日	例: 悪性黒色腫、乳房外パジェット、基底細胞がん、有棘細胞がん 有棘細胞がん、ボーエン病、基底細胞がん、悪性黒色腫
------------------------------------	--